

分野	荒廃山地の復旧等の治山			事業番号	4	事業名	山地治山 (治山施設機能強化)				
市町村名	飯田市	ふりがな 箇所名	きざお 木沢		事業年度 (完了年度は見込み)	H24 年度 ~		H26 年度			
事業概要	計画概要 (延長・幅員・面積・工種など)	谷止工 3個 (新設1、高上2)				H23年度末 事業進捗率	- %				
	H24年度以降実施内容	同上				本工事費等ベース	- %				
	H24年度実施内容	谷止工 1個				用地補償費ベース	- %				
	年度	全体事業費	H22年度まで	H23年度	H24年度	H24年度以降残					
財源内訳	事業費計 (千円)	60,000			20,000	60,000					
	国庫支出金	30,000			10,000	30,000					
	その他										
	県債	27,000			9,000	27,000					
	一般財源	3,000			1,000	3,000					
箇所評価	観点	評価項目・指標等			評価		ランク	評点			
	必要性 (20)	保全対象人家	10戸以上	1~9戸	0戸	A	5				
		保全対象公共施設	2箇所以上	1箇所	なし		5				
		保全対象に災害時要援護者関連施設があるか	重要施設	一般施設	なし		0				
		保全対象(保安林・林業用施設)	「広域基幹林道」又は利用区域500ha以上の林道又は保安林率50%以上	保安林率30%以上50未満又は流域対策上保全すべき森林あり	保安林率30%未満		7				
		小計					17				
	重要性 (15)	過去の災害履歴	過去5年に1回以上	災害履歴地	なし	A	5				
		交通遮断による地域経済などへの影響	大	中	小		5				
		防災計画上の位置づけ	あり	なし			5				
		小計					15				
	効率性 (20)	費用対効果 (B/C)	B/C2.0以上	B/C1.0以上2.0未満	B/C1.0未満	A	10				
		早期発現度	3年未満	3年以上5年未満	5年以上		5				
		流域の総合調整	あり	なし			0				
		小計					15				
	緊急性 (25)	最寄の保全対象までの距離	50m未満	50m以上200m未満	200m以上	A	4				
		地形、地質の状況	火山噴出物、花岡岩、第3紀層、破砕帯かつ地すべり地形	火山噴出物、花岡岩、第3紀層、破砕帯	その他		2				
		平均渓床勾配 (平均山腹勾配)	10°以上 (30°以上)	5°~10°未満 (20~30°未満)	5°未満 (20°未満)		3				
		下流の堰堤等の整備状況 (他所管含む)	なし	あり (概ね満砂)	あり (ポケットあり)		3				
		危険地区危険度	Aランク	Bランク	Cランク		なし	7			
		小計					19				
計画熟度 (20)	地域からの要望	地域住民活動強い	市町村要望有り	特に要望ない	B	7					
	事業情報の共有	関係者以外にも周知	関係者中心に周知	特に周知していない		3					
	住民参加の状況	住民が直接参加	住民市町村意見を反映	住民意見反映していない		3					
	小計					13					
費用対効果 (B/C)	10.36	評価の合計			A	79					
事業周辺環境	事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	災害履歴地 (S57緊急治山施工地) であり、H22年7月豪雨時にも渓流から土砂流出があり床下浸水が発生したため、下木沢自治会から飯田市を通じて治山事業実施要望あり。									
	地域からの要望経緯	H23年6月10日に飯田市から要望諸提出あり。									
	事業説明等の経緯	H23年11月15日に地元 (下木沢自治会) へ説明した。									
	環境・景観への配慮項目	特になし。									
	他事業・プロジェクトとの関連	特になし。									
特記事項	特になし。										
地域の合意形成	全員賛成	概ね賛成	過半数賛成	動向不明	その他						
部意見	集落に近接した治山工事施工地であるが、平成22年7月豪雨の際に上流で新たな山腹崩壊が発生し、既設構造物を土砂が越流し下方へ流出した。渓流内には未だ不安定土砂が堆積していること、既設谷止工は、経年劣化により機能が低下しているため、既設谷止工を高上げ、増厚することにより機能強化対策を行い、再度災害の発生を防止する必要がある。			政策評価課意見	重要性が高く、必要性、緊急性も認められる。						